

# JASA フラットフォーム研究会

## 平成 20 年度 合宿レポート

(TJK 金谷城スポーツセンター)

### 1. 合宿の概要

#### (1)日時・場所・参加者

日時：平成 20 年 11 月 27 日 13:00～17:00

11 月 28 日 9:00～12:00

場所：TJK 金谷城スポーツセンター会議室

参加者：セントラル情報センター 白銀氏

フィット・デザイン・システム 辻氏

エヌデーデー 奥村氏、岡村氏

アップウィンドテクノロジー 中村氏

東海ソフト 済賀氏

YCC 情報システム 伊藤(秀)氏

メノックス 松島氏

コア 崎詰氏、伊藤(豊)氏、中元氏

JASA 事務局 田辺氏



#### (2)スケジュール

##### ◆11月27日（1日目）

- ・13:00 開会の挨拶（崎詰氏、白銀氏）
- ・新規会員の挨拶（松島氏）：会社紹介も含めて
- ・研究会主査の挨拶（伊藤豊氏）：経過確認

- ・ 13:30 各自の発表（持ち時間は 15 分）  
今後の技術（RT、センサー）やビジネスモデル、  
マネジメント、ICT 業界の問題やグローバルの影響など
- ・ 15:00 コーヒーブレイク
- ・ 15:20 再開
- ・ 17:00 終了、部屋割りなど

◆ 11 月 28 日（2 日目）

- ・ 9:00 1 日目の感想とポイントについて（中村氏、辻氏、伊藤秀氏）
- ・ セミナー開催  
「マネジメント推進(仮)」(白銀氏)  
「経済産業省の新しい動き」(崎詰氏)
- ・ 今後の進め方（有り様）について（全員で）
- ・ 今回の合宿の満足度について講評（全員からひとこと）
- ・ まとめ（崎詰氏）
- ・ 12:00 終了

## 2. 合宿結果の概要

### (1) 各自の発表概要（第 1 日目）

- ◆ 岡村氏 “ロボコンの開催状況” 資料：[「ロボットコンテスト開催状況」](#)
  - ・ 2008 年度に開催した全国のロボットコンテストの状況説明。  
情報源は「RobocoN マガジン」
  - ・ ET ロボコンは年々参加チームが増えている。 来年は 300 チームを超える勢い。
  - ・ The Robot Awardの「ロボット大賞」もある。 レスキューロボットコンテストでは 1/6 の市街地模型を使って救出活動を審査する。
  - ・ 他にバカロボコンテスト（吉本興業） バカロボ三原則は「メカニックであること」、「役にたたないこと」、「人を笑わせること」
- ◆ 松島氏 “Zigbee とセンサーネットワークの展望”  
資料：[「Zigbee 開発実績とセンサーネットワークの展望について」](#)
  - ・ 工業用 Zigbee やビルシステム用 Zigbee などの説明  
ビルシステムの例では、メッシュトポロジを採用して最適ルートで情報を伝達する。  
Zigbee ネットワークを利用して「おぼけ屋敷」の開発など、目や耳の代わりとなり特徴を出すシステムなどがあり得る。
  - ・ 日本では Bluetooth、RFID、ZigBee が流行らないのは、マーケット創造欲がない。（欧米では当たり前に行っている）

◆伊藤（豊）主査 “価値の変化とセンサーネットワークについて”

資料：[「価値の変化とセンサーネットワークについて」](#)

- ・価値の創造  
個人を機軸とした世界的フラットな時代へ。
- ・センサーネットワークを利用した情報の収集・登録  
ビジネスモデル案・・・コア製品 ITAM を使った動態動向調査システム  
(施設・店舗で人の流れを検知してデータ収集)

◆奥村氏 “顧客密着型のビジネス”

- ・いかに顧客企業が NDD 社のソリューションで発展するかを考える。
- ・予算に合った形で最大限のメリットを生み出す提案を行う。
- ・自動車のマンマシンインタフェースの発展  
自動車が一つの端末と仮定して場合、車を勝手に車庫へ納める  
仕組みをカーナビと連動させて実現できないか？

◆済賀氏 “クラウドコンピューティング”

<https://itmedia.smartseminar.jp/public/seminar/view/53>

資料：[「Conference Report クラウド時代の到来」](#)

- ・クラウド時代の幕開け  
クラウドの登場は 2006 年 11 月 7～8 日の Web2.0 Summit が最初。
- ・クラウドサービス提供のスタイル、クラウドネットワークの特徴について説明。

◆伊藤(秀)氏 “RT と組み込み産業” 資料：[「RT と組み込み産業」](#)

- ・RT 業界の将来像はアシスト系 RT (小さい事が好きな日本人)  
将来像は、人間だけでなく地域や産業もアシスト対象
- ・日本の RT 業界  
応用研究は盛んだが、生き残れるだろうか？  
小型、軽量化のものに進化していく。

◆辻氏 “ロボット開発のプラットフォーム”

参照 URL <http://www.robo-labo.jp/modules/news5/>

「石黒周が語るロボットビジネスの明日」

- ・ロボットビジネスのアプローチには、マーケットイン型 (例：SGI 社) と、プロダクトアウト型 (例：サイバーダイナ社) がある。
- ・日本 SGI の Room Render (声による一括制御) や、サイバーダイナのロボットスーツ HAL の紹介。

- ・プラットフォーム      ネットワークロボットと環境情報構造化  
CrossML(記述言語、慶大徳田研究室)

◆田辺氏 “ロボット関連企業のコンセプト紹介”

- ・パナソニックのロボット開発戦略  
<http://robonable.typepad.jp/robot/2008/04/post-5390.html>  
まずは単機能の道具型ロボットとしての生活支援ロボットを目指した。→2004年に人随伴搬送ロボット  
現在は介護を重視したロボット開発を行っている。
- ・本田技研工業のロボット開発戦略  
<http://robonable.typepad.jp/robot/2008/02/asimo-6957.html>  
人と共存し、人に役立つロボットを目指す。(AIMO)  
人とのインタラクションを重視し、実環境での利用可能なレベルに近づいている。  
今後の課題はサービスの間合いの検証や、安全技術の向上。
- ・日立のロボット開発戦略  
<http://robonable.typepad.jp/robot/2007/12/post-a5c2.html>  
開発のキーワードは「人間共生」。  
オフィス環境での受付・案内やセキュリティ(監視機能)を目指す。
- ・ロボット技術の人材育成(株式会社ロボテスト)  
<http://www.robotest.jp/>  
教材の制作、検定の実施、資格の発行、講習の実施、etc

◆中村氏 “ロボット技術”      資料：[「ロボット工学」](#)

- ・ロボコンブームの問題点……サーボ制御だけでなく基礎知識が重要。
- ・ロボット技術は機械工学+ $\alpha$
- ・電通大在学中にゴミ収集ロボットを試作した。
- ・ET2008では、ミニ・ソーラーカーと、自動車屋さんほいほいを展示。

(2) 各自の発表概要(第2日目)

◆中村氏(続き) “組込みDBとファイルシステムについて”

- ・サーバー側ではなく、こちら側にDBを持つ → トラフィックの軽減
- ・DBを持つ利点……膨大なデータを自分で管理せずに済む。
- ・組込みでどのように活用するかを提案する必要あり。
- ・ブライセン社のLINTERは、ソニーの携帯電話やケンウッドのカーナビに採用されている。

◆崎詰技術本部長のセミナー

①パナソニック 榎木氏の講演内容紹介

『デジタル家電における組み込みソフトウェア』

- ・今後のネット家電時代の組み込みソフト開発リーダー像は、“グローバル事業戦略型システムアーキテクト”である。
- ・プラットフォーム型の開発でソフト開発の爆発を抑制する。
- ・新時代のリーダーをどう育成するかが重要課題。

②組み込み産業イノベーション協議会の設立について

- ・組み込みソフト開発力強化のため、ユーザメーカーと組み込みベンダーの協業を推進する。

③JASA ビジョン（草案紹介）

- ・具体的な活動として、いつ何をすべきかは各委員会の検討事項委。

◆白銀氏のセミナー（資料は公開不可）

①組み込み NOW のレビュー

- ・2年前の予言通りになっている。

②研究会資料のレビュー

- ・マネジメントに関する個人的問題意識の有り様。

③I SMS 導入企業の事例紹介

④これからやろうとしていること

- ・社外 HP、AD 導入、全社ファイルサーバーの統合、など。

(3) 今後の進め方（有り様）について

- ・トレンド集団という意識で新技術や動向を追っていく。  
（報告書ありきではない）
- ・個々のアイテムをどこまで深堀するか？  
ロボットとセンサーは継続する。
- ・合宿の内容を持ち帰って、自社・自己を見つめる。

(4) まとめ（崎詰技術本部長）

時代の変化に対応していく必要があるが、この研究会でいろいろ議論して、変革のリーダーとなっていこう。

以上